

# DXで地域課題解決を

行政のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進によって地域課題解決策を探る全国首長サミットが28日、東京都内であり、大山さぬき市長、上村東かがわ市長ら10都県から13人の首長が集まり、事例報告や意見交換を行った。自治体が存続していくには民間との連携を含めたDX化が不可欠とする一方、国に継続的な財政支援を要望する声も相次いだ。

サミットは全国の信用金庫でつくる「よい仕事おこしフェア実行委員会」(事務局・城南信用金庫)が信金と地元自治体が連携することで地域を元気にしていこうと企画した。昨年5月に「地域活性化」、同11月に「人手不足」をテーマに

開催。3回目の今回は「デジタル化」を取り上げた。事例報告で大山さぬき市長は「地域のコミュニティーを重視した市民・利用者目線のデジタル化が必要」とし、地元の津田高校生徒が高齢者にスマートフォンの使い方を教える取り組みを紹介。「古里を愛する心の醸成や世代を超えた交流



デジタルを活用した地域課題の解決策について意見交換した全国首長サミット—東京都千代田区

## 東京で13首長サミット

さぬき、東かがわ市長ら

にもつながる」と狙いを強調した。上村東かがわ市長はハマチ養殖で培った技術を生かし、IoT(モノのインターネット)を活用したカキの試験養殖について報告。「海水温やカキの成育状況をデータ化し、共有することで漁業者の負担軽減を図り、離職を防ごうという取り組み。漁業者の高齢化という地域課題をデジタルの力で解決しようとする事例だ」と述べた。

意見交換では、大山さぬき市長が「システム導入時の支援は手厚いがランニングコストがポディーブローのように効いてくる」と国に継続的な財政支援を求めたほか、上村東かがわ市長は「人口を増やすことではなく、減少を前提に社会課題をどう解決していくかが過疎地に求められるアプローチだ」と指摘した。

高松市香川町東谷地区に江戸時代から伝わる農村歌舞伎「祇園座」(県指定無形民俗文化財)の公演が28日、同所の平尾八幡神社境内にある舞台小屋「祇園座」であった。華やかな衣装に

## 高松・東谷農村歌舞伎

ユニティ協議会のメンバーらも登場。祇園座保存会は「御所桜堀川夜討」を織り込んだ演出で、観客を魅了した。川東小6年の厨子碧月さん(12)は「今までで一番いい演技ができた。おひねりがたくさん飛んでくれてうれしかった」と笑顔。上田拓



熱のこもった—高松市香川

運を醸成することを目的に昨年度に創設。同自立圏を

中讃の2市3町でつくる瀬戸内中讃定住自立圏は、脱炭素の取り組みを推進する企業や団体をたたえる第1回目の「脱炭素促進事業者表彰」に6企業・団体を

## 6企業・団体が受賞

中讃定住自立圏 脱炭素促進表彰

次期防災情報システムの構築に向け初会合 県検討委、26年度運用



観音寺、三豊両市内の事業所に就職した新社会人を激励する「新就職者を励ます会」が観音寺市のホテルで開かれた。19事業所から40人が参加し、一日も早い職業人としての自立と地域

式には受賞企業・団体の関係者ら約70人が出席。代表者6人は、松永丸亀市長から県産木材で作った表彰盾を受け取った後、環境に配慮した屋根材開発や新聞紙を利用したバッグ作りなど、それぞれが取り組んだ事業・活動と内容について

構成する丸亀、普通寺、琴平、多度津、まんのうの2市3町に拠点を置く企業や団体から活動を募集し、各市町などが選考に当たった。



紹介した。ごみ拾い活動で受賞した大手前丸亀中・高校広報委員会、昨年度に代表を務めた洲賀崎海月さん(17)は「ごみを拾うだけでは問題

解決にならない」と思い、現状を訴える活動に取り組んだ。後輩にはこれまで築いてきた人とのつながりをより強くし、過ごしやすい香川をつくってほしい」と話した。

への貢献を誓った。観音寺職業安定協会(高橋寛栄会長)が24日に実施。近年は新型コロナウイルスの影響で中止が続いており、5年ぶりの開催となった。

害時の情報伝達の基幹システム。市町や防災関係機関から気象や被害、避難などの情報を収集し、メールやホームページ、防災アプリなどを通じて県民へ発信している。現行システムは2020年度に稼働した。

部活地域移行で高松市 専門指導者確保へ 市スポーツ協会と協定



協定書を手にする大西市長。左端が小柳教育長、右端が大西会長—高松市役所

年度の運用開始に向け、システム構築を進める。